

2013年11月 個人投資家様向け会社説明会 主な質疑応答(要旨)

2013年11月に開催いたしました個人投資家様向け会社説明会の主な質疑応答(要旨)を以下にご案内いたします。

Q. フィールズが取り扱う知的財産は、今後、どれくらいの規模になっていくのか？(倉敷会場)

A.例えば、知的財産を創出するコミックスでは、一般的に100作品に1作品がヒットと言われています。

当社では、月刊ヒーローズを通じて、すでに20作品を展開し、なかでも「ULTRAMAN(ウルトラマン)」の単行本は3巻累計で約90万部を発行するなど、順調に推移しています。

こうした作品に加え、将来的には様々なメディアに展開し、多くのファンを獲得できる有力な知的財産を複数擁することで、グループ全体の利益に大きく貢献するものと考えています。

Q. 10月に海外IRをされているが、海外の機関投資家の反応をお聞かせください。(倉敷会場)

A.欧州の機関投資家は、日本の「アベノミクス、カジノ、クールジャパン」に注目しており、当社が推進しているキャラクターやストーリーをはじめとした知的財産の取得・創出・育成について、大変興味を持たれていたと感じています。

Q. カジノについて、どのように考えているのか？(倉敷会場)

A.仮に、国内にテーマパーク、劇場、カジノなど、様々なエンタテインメントを統合した施設が開設した場合、国内外から訪れた幅広い方々を楽しませるためにも、日本独自のコンテンツが必要不可欠になると考えています。

当社では、知的財産を活用した商品やサービスの展開を進めており、カジノを含む統合型リゾート施設においても、知的財産の展開先の一つと捉え、日々、調査・研究を重ねています。

Q. オリンピックの開催が決定し、今後景気が上昇していくと思うが、フィールズにはどのような影響があるのか？(倉敷会場)

A.オリンピックによって景気が上昇した場合、可処分所得が増加し、人々の余暇に対するニーズが拡大することが考えられます。

こうした中、心を豊かにするコンテンツを活用した商品やサービスの需要が一層高まり、当社の事業も比例して拡大していく可能性があると考えています。

2013年11月 個人投資家様向け会社説明会 主な質疑応答(要旨)

2013年11月に開催いたしました個人投資家様向け会社説明会の主な質疑応答(要旨)を以下にご案内いたします。

Q. グリー㈱や㈱ディー・エヌ・エーとの関係について、お聞かせください。(福岡会場)

A. 当社グループは、インタラクティブ・メディアの分野において、グリー㈱や㈱ディー・エヌ・エーと連携して知的財産を活用したソーシャル・ゲームを展開しており、パートナーと考えております。

Q. 株主への利益還元について、お聞かせください。(福岡会場)

A. 当社は、持続的成長や社会貢献と同等に、配当を含めた株主還元を継続して実施していくことが経営上重要であると考えています。連結配当性向20%以上を基準としており、2014年3月期の1株当たり年間配当は50円を予定しています。引き続き、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

Q. 2009年3月期の当期純利益がマイナスになっているが、この要因は？(福岡会場)

A. 2009年3月期は、当社の主力パチンコ機「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」の販売時期を戦略的に見直し、次期の販売としたこと、及びグループポートフォリオの再構築を実施したことにより、当期純利益が△14億円となりました。